



# 2013年3月期 決算説明会資料

2012年4月1日～2013年3月31日

株式会社マンドム  
(証券コード 4917)



## 目次



1. 2013年3月期 通期連結業績概要
2. 連結売上高
3. 連結段階利益
4. 事業推進の概況
5. 第10次中期3ヵ年経営計画(MP-10)進捗状況
6. 2014年3月期 通期業績見通し

# 1. 2013年3月期 通期連結業績概要

(単位：百万円)

	通 期					
	2013/3期	2012/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比	計画比※
売上高	60,427	59,801	625	101.0%	102.4%	100.7%
営業利益	5,947	6,050	▲ 102	98.3%	—	106.2%
経常利益	6,241	6,308	▲ 66	98.9%	—	107.6%
当期純利益	3,607	3,299	308	109.3%	—	106.1%

※10/29発表の修正計画比

ROE	8.0%	7.7%
EPS	154.29円	141.11円

配当性向	40.2%	42.5%
------	-------	-------

■ 売上高および当期純利益において、過去最高を更新

## 2. 連結売上高

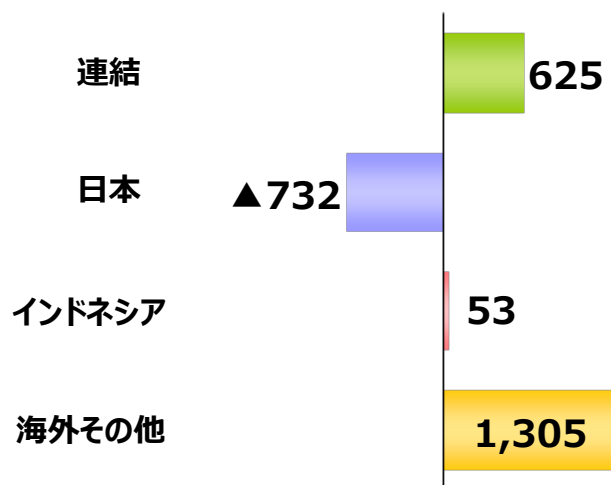
### 2-1.所在地別売上高

(単位：百万円)

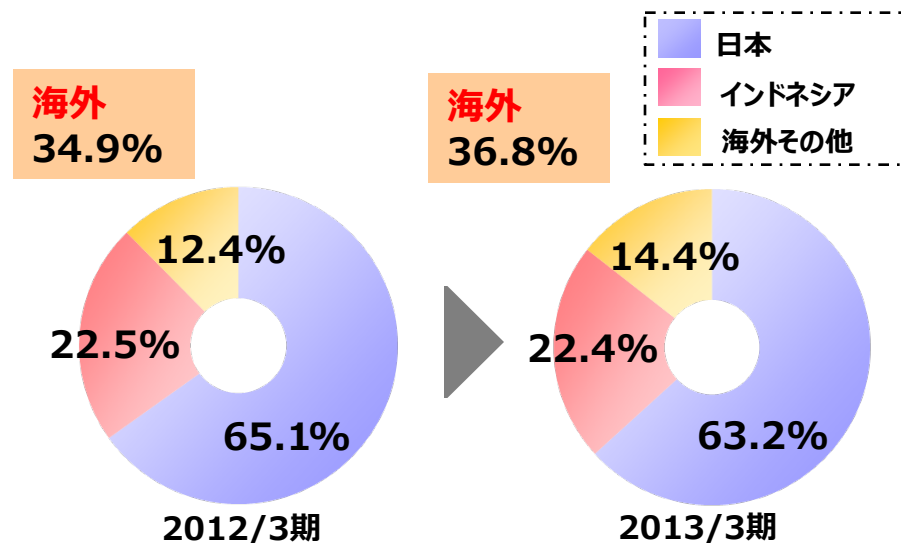
	通 期			
	2013/3期	2012/3期	増減額	同期比
売上高	60,427	59,801	625	101.0%
日本	38,208	38,940	▲ 732	98.1%
インドネシア	13,510	13,457	53	100.4%
海外その他	8,708	7,403	1,305	117.6%

### 2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



### 2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



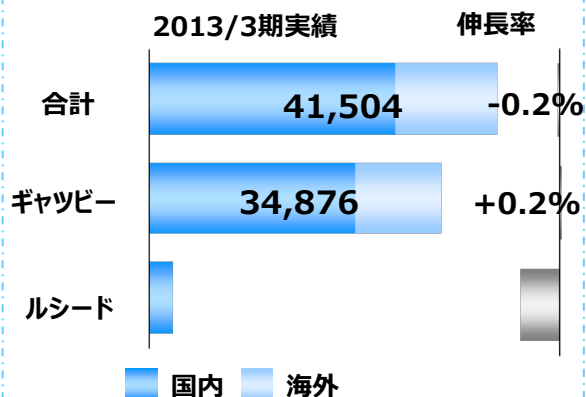
## 2. 連結売上高

### 2-4.事業別売上高

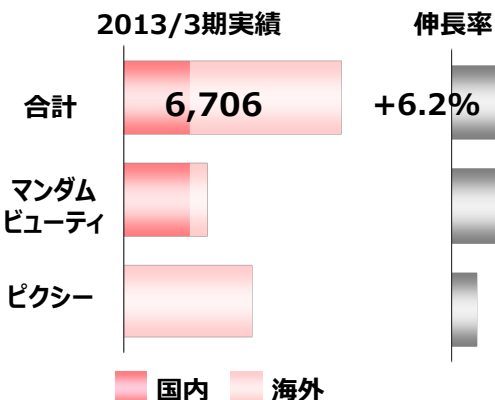
(単位：百万円)

	通		期	
	2013/3期	2012/3期	増減額	同期比
売上高	60,427	59,801	625	101.0%
男性グーミング事業	41,504	41,586	▲ 82	99.8%
ギャツビー	34,876	34,803	73	100.2%
女性コスメティック事業	6,706	6,312	394	106.2%
女性コスメタリー事業	5,781	5,378	402	107.5%
その他事業	6,435	6,524	▲ 88	98.6%

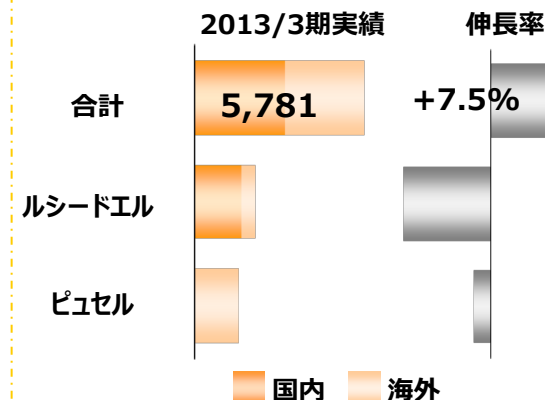
#### 男性グーミング事業



#### 女性コスメティック事業



#### 女性コスメタリー事業



### 3. 連結段階利益

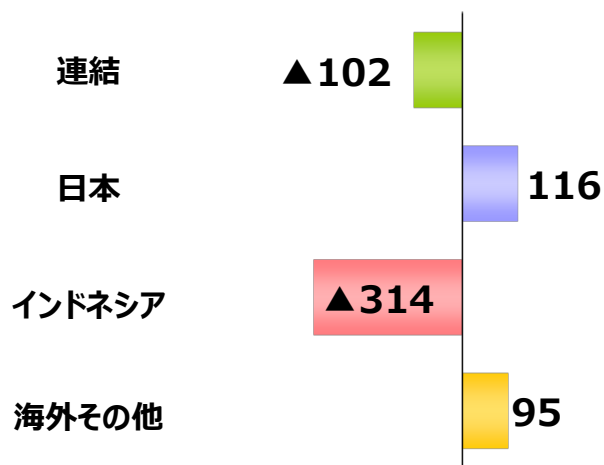
#### 3-1. 所在地別営業利益

(単位：百万円)

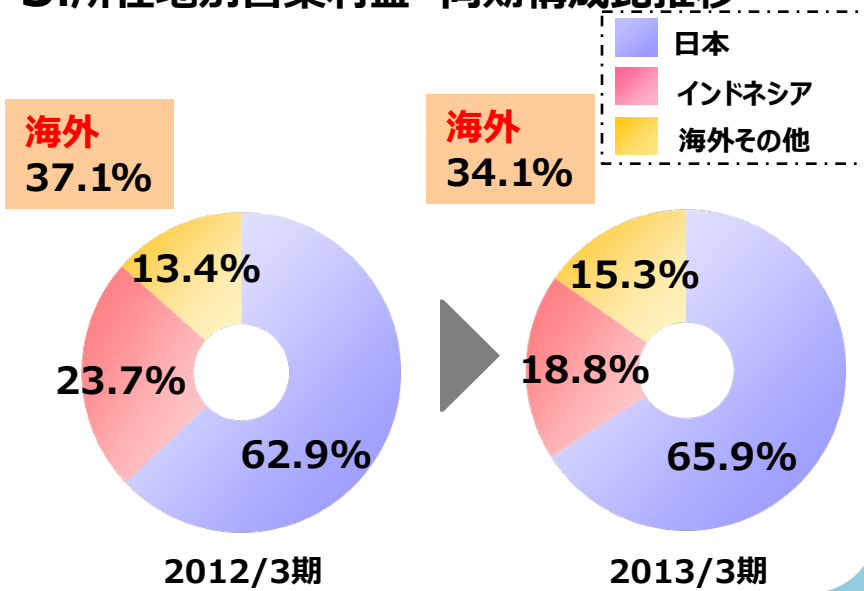
	通 期					
	2013/3期		2012/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	5,947	9.8%	6,050	10.1%	▲ 102	98.3%
日本	3,921	10.3%	3,805	9.8%	116	103.0%
インドネシア	1,117	8.3%	1,432	10.6%	▲ 314	78.1%
海外その他	908	10.4%	812	11.0%	95	111.8%

#### 3-2. 所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)



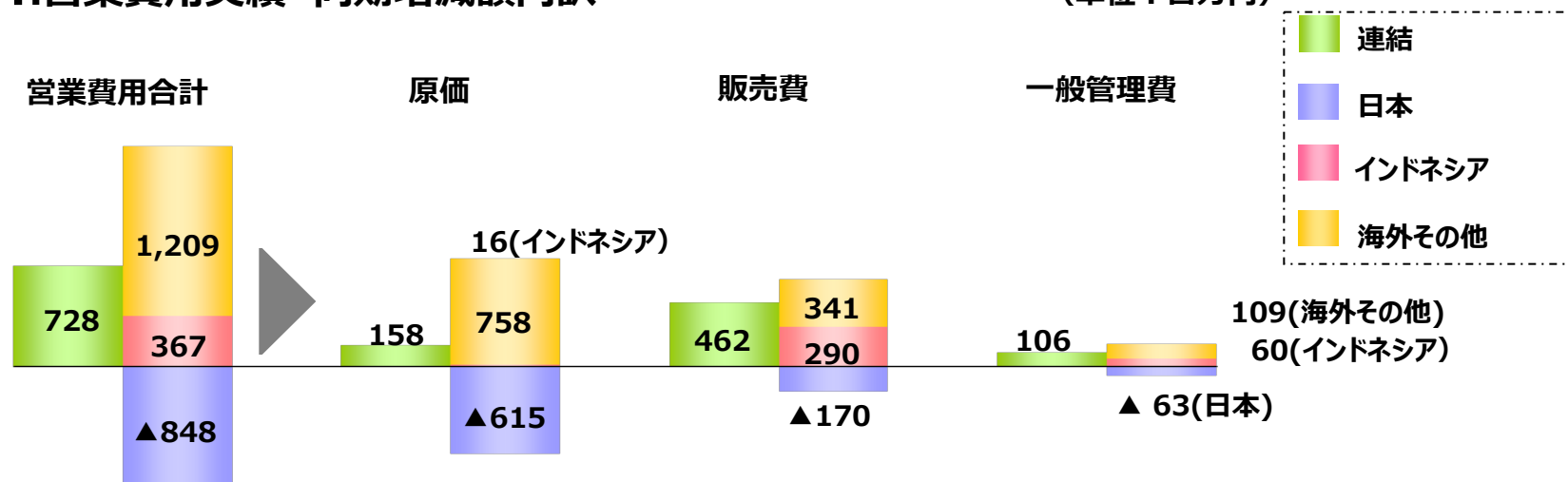
#### 3-3. 所在地別営業利益 同期構成比推移



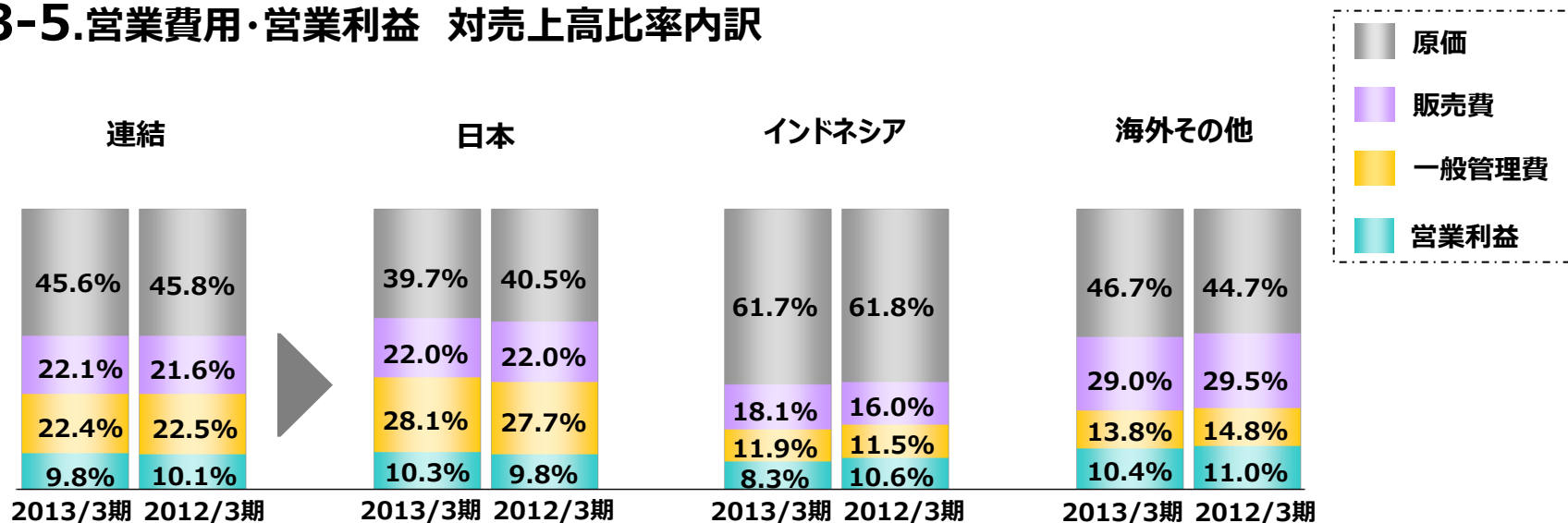
### 3. 連結段階利益

#### 3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳

(単位：百万円)



#### 3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳



### 3. 連結段階利益

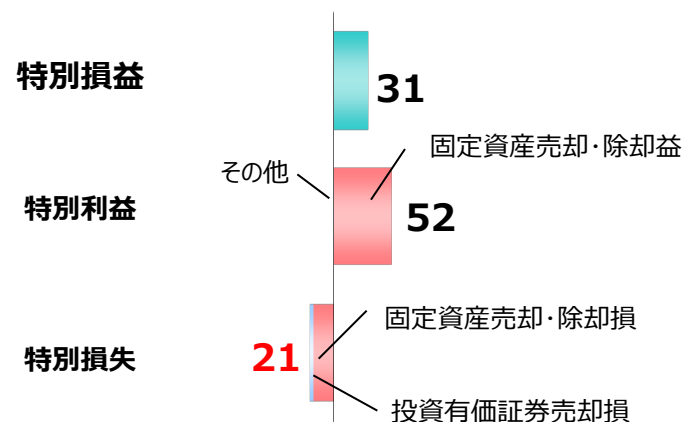
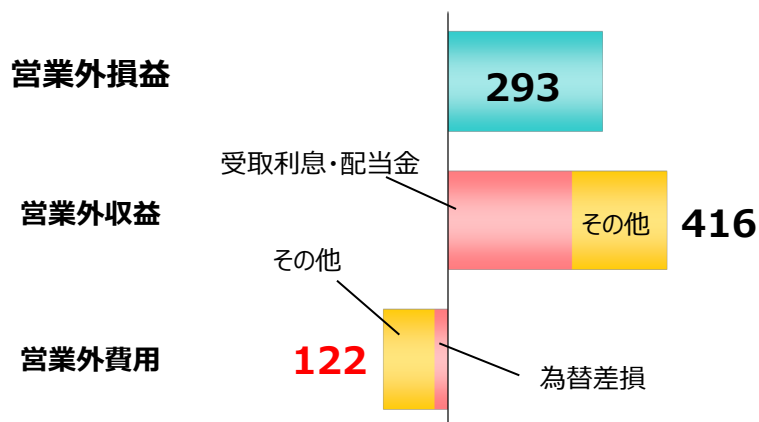
#### 3-6. 経常利益・当期純利益

(単位：百万円)

	通 期					
	2013/3期		2012/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	293	0.5%	257	0.4%	36	114.0%
経常利益	6,241	10.3%	6,308	10.5%	▲ 66	98.9%
特別損益	31	0.1%	▲ 188	▲0.3%	220	▲16.4%
税引前純利益	6,272	10.4%	6,119	10.2%	153	102.5%
法人税等	2,175	3.6%	2,354	3.9%	▲ 179	92.4%
少数株主利益	490	0.8%	465	0.8%	24	105.3%
当期純利益	3,607	6.0%	3,299	5.5%	308	109.3%

#### 3-7. 営業外損益・特別損益 損益内訳

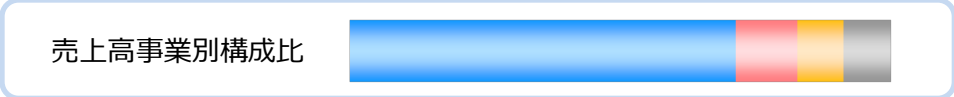
(単位：百万円)





# 4. 事業推進の概況

日本



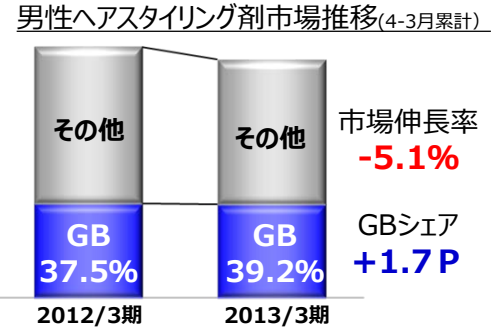
※マンドム算出市場データ

## 男性グルーミング事業

GATSBY

【スタイリング】

主カアイテムである「ムービングラバー」の再強化により  
スタイリング市場シェアを拡大

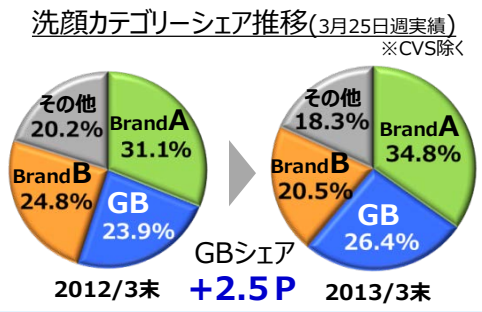


【フェイス&ボディ】

競合環境が激しいスキンケアカテゴリーに対し、  
「フェイスクアシリーズ」の全面リニューアルを実施  
洗顔カテゴリーシェアを大幅拡大



好調に推移する  
「フェイスクアシリーズ」



成長ポテンシャルの高いボディケアカテゴリーに対しても、  
「バイオコアシリーズ」のリニューアルや「ボディペーパーシリーズ」の  
CM投下を行うなど継続強化

## 女性コスメティック事業

Mandom Beauty

「ビフェスタ」のCM投下やプロモーション展開による  
水クレンジングの更なる認知拡大を  
図るとともに、商品ラインナップを  
強化するなど、ブランド育成を継続



新製品を発売し  
ラインナップを拡充

## 女性コスメタリー事業

好調に伸長したボディケアカテゴリーにおいて  
アイテムを追加し、ラインナップを拡充



好調なボディペーパーに新香調を追加し  
新たにボディウォーターを発売

## 4. 事業推進の概況

インドネシア

売上高事業別構成比



### 男性グルーミング事業

GATSBY

#### 【スタイリング】

主カアイテムの「ウォーターグロス」  
を全面リニューアルし、  
スタイリングカテゴリーを強化



「ウォーターグロス」全面リニューアル

#### 【フェイス&ボディ】

生活者の高まるおしゃれ意識に対し、  
新たなフレグランスシリーズを発売するなど  
ラインナップを拡充



新フレグランスシリーズ「アーバンコロ」発売

### 女性コスメティック事業

PIXY

主カアイテムの「2ウェイクーキ」を  
全面リニューアル  
商品力の強化とともに、ブランドの  
鮮度アップを図る

「2ウェイクーキ」のリニューアルに  
ともないプロモーション強化



### 女性コスメタリー事業

Pucelle

新シリーズ「グラゼル」において、新商品を追加するなど  
展開を拡大

20代前後の女性を  
ターゲットとした  
新シリーズ「グラゼル」



更なる事業規模拡大に向け、新規事業への取り組みを開始

人気キャラクターデザインの  
キッズ向け商品を発売



## 4. 事業推進の概況

### 海外その他

売上高事業別構成比



#### 中国

ヘアスタイリングカテゴリーでは、  
展開エリアおよびチャネルを拡大  
男性フェイス&ボディカテゴリーおよび女性スキンケア  
カテゴリーでは、都市部を中心に、それぞれに合った  
チャネルを選定し展開の集中化を図る

#### インドチャイナ

タイを中心に、周辺国のミャンマー、ベトナム、  
カンボジアへと展開を拡大  
現地代理店との協働により、市場開拓と流通網構築  
に取り組む

#### インド

昨年7月よりマングラムインディアが本格稼働し、  
現地パートナーとの協働でマーケティングを強化  
インド市場での流通網の拡大とともに、展開商品の  
市場定着を図る

### 設備投資実施について

アジアでのさらなる展開拡大を見据え、生産能力の増強とグループのシナジー効果を発揮できる供給体制づくりを  
目的とした設備投資を実施します

・日本(福崎工場)  
投資額：約35億円  
完成：2013年12月予定

・インドネシア(新チビトン本社・工場)  
投資額：約37億円  
完成：2014年12月予定

新チビトン本社・工場  
完成予定図



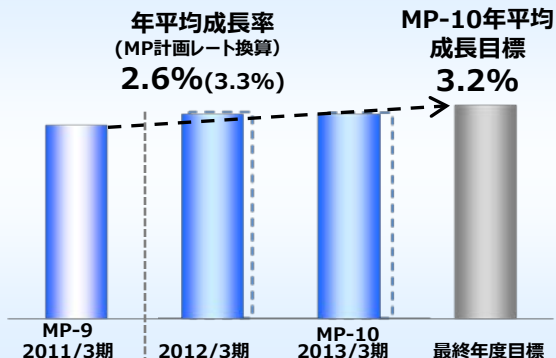
# 4. 事業推進の概況

## 男性グルーミング事業

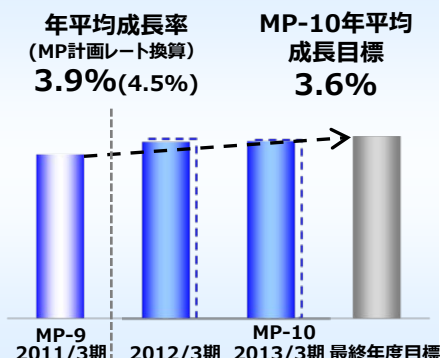
コア事業としての安定成長を図り、男性グルーミング市場でのカテゴリーシェアの維持・拡大を目指す

2年度進捗状況  
海外が牽引し、ほぼ計画通り進捗  
最終年度見通し  
目標達成の見込み

男性グルーミング事業 目標及び実績



ギャツビー売上高 目標及び実績

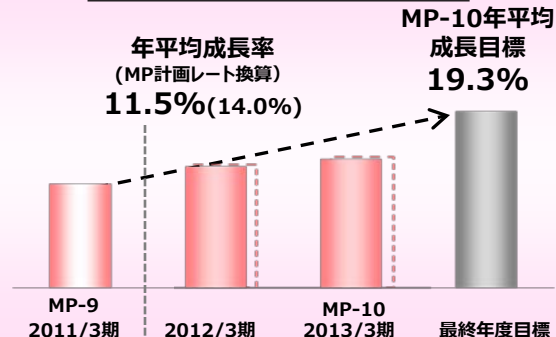


## 女性コスメティック事業

スキンケアを中核に、展開各国市場に適応した商品ラインアップによる展開の強化・育成を目指す

2年度進捗状況  
国内・海外とも計画未達  
最終年度見通し  
目標未達の見込み  
(但し、当初計画の最終年度成長率は確保)

女性コスメティック事業 目標及び実績

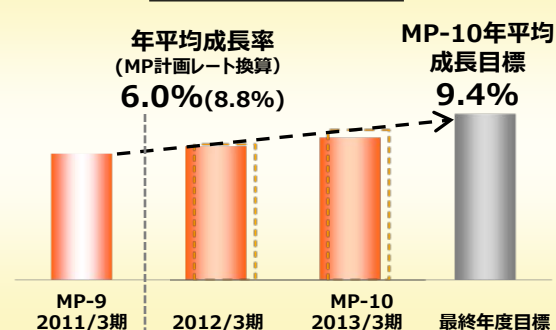


## 海外事業

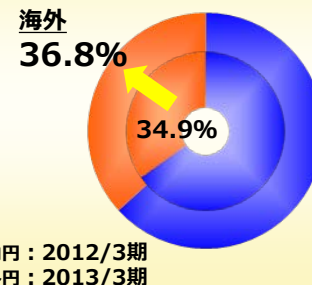
重点エリア(INDONESIA・CHINA)での積極展開によりアジア市場の深耕を図り、グループの成長性向上を目指す

2年度進捗状況  
為替の影響で未達も、現地通貨ベースでは計画を上回り進捗  
最終年度見通し  
目標達成の見込み

海外事業 目標及び実績



海外売上高比率



# 5. 第10次中期3カ年経営計画(MP-10)進捗状況

## MP-10 2年度進捗状況

### 当初計画から若干下ブレ

国内未達成・為替影響による成長性目標の未達成にともない、収益性目標も未達成

### 成長性

国内事業の未達および為替の影響により、当初掲げた2年度目標は未達成

連結売上高

MP-10最終年度目標 660億円

2年度実績 **604億円**

### 収益性

売上高目標未達にともなう収益性の低下により未達成

連結営業利益率

MP-10最終年度目標 10%以上

2年度実績 **9.8%**

### 株主還元

最高利益達成にともない増配

連結配当性向

MP-10 3カ年継続目標 40%以上

2年度実績 **40.2%**

## MP-10 最終年度見通し

### 当初計画の達成を目指す

MP-10で掲げたテーマに注力し、当初計画達成を目指す

### 成長性

3事業のさらなる推進により当初掲げた最終年度目標の達成を目指す

連結売上高

目標達成の見込み

最終年度目標 **665億円**

### 収益性

海外その他に積極的なマーケティング投資を行なうものの、費用の効率化により営業利益率の確保を目指す

連結営業利益率

目標達成の見込み

最終年度目標 **10%**

### 株主還元

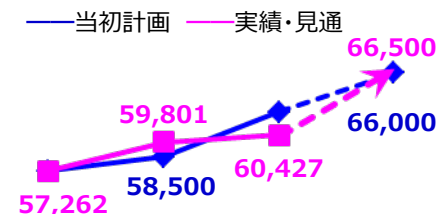
安定的かつ高水準な株主還元を継続

連結配当性向

継続目標の**40%以上を確保**

### 売上高

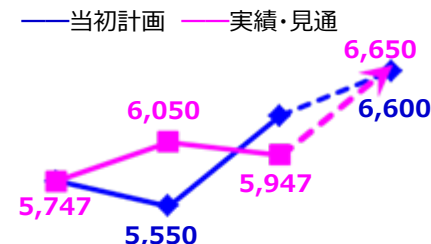
(単位：百万円)



11/3期 12/3期 13/3期 14/3期(予)

### 営業利益

(単位：百万円)



11/3期 12/3期 13/3期 14/3期(予)

## 6. 2014年3月期 通期業績見通し

### 6-1. 2014年3月期 連結業績予想（計画）立案の前提

#### 増収の前提

- + 「ギャツビー」の成長にともなう男性グルーミング事業の安定的な成長
- + 女性コスメティック事業の継続強化
- + 成長エンジンとして海外事業の高成長
- + 為替(円安)の影響による海外売上高の円換算増

#### 増益の前提

- + 増収効果による増益
- + 為替(円安)の影響による海外利益の円換算増
- 売上原価率の高い海外比率の上昇にともなう原価率の上昇(国内外ともに原価率は低減)
- 海外(特に海外その他)への継続的なマーケティング投資

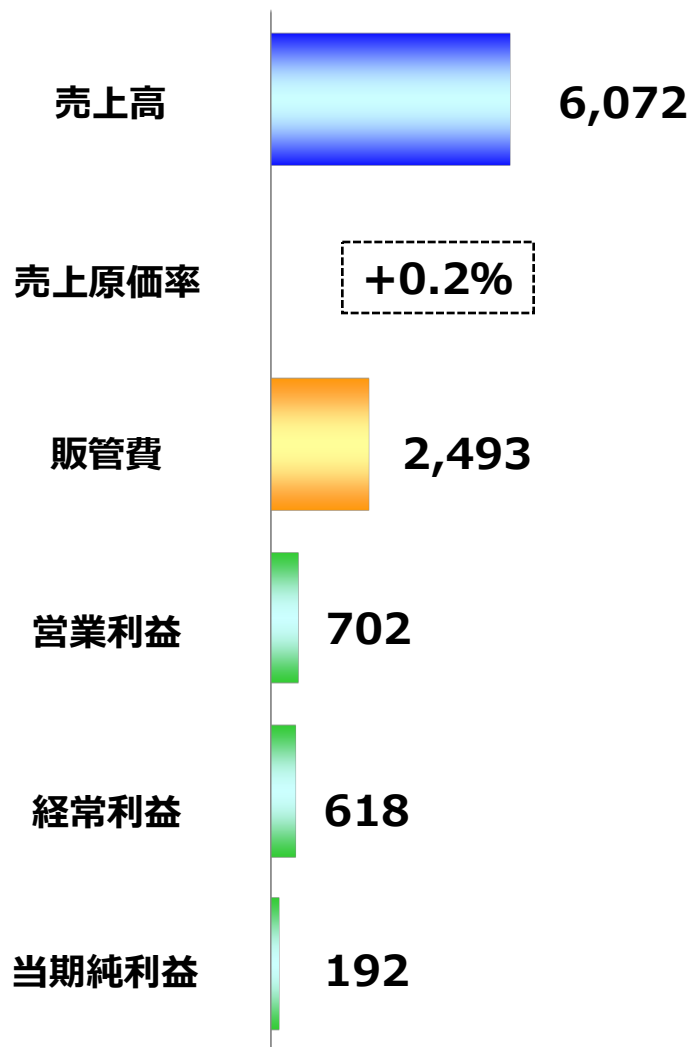
### 6-2. 2014年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2014/3期						2013/3期	
	通期			第2四半期			実績	
	業績予想	増減額	同期比	業績予想	増減額	同期比	通期	第2四半期
売上高	66,500	6,072	110.1%	36,400	2,548	107.5%	60,427	33,851
営業利益	6,650	702	111.8%	4,760	20	100.4%	5,947	4,739
経常利益	6,860	618	109.9%	4,850	▲66	98.6%	6,241	4,916
当期純利益	3,800	192	105.3%	2,720	▲329	89.2%	3,607	3,049

6-3. 2014年3月期 主要費目別業績予想 増減額内訳

(単位：百万円)



■ 売上高 為替の影響に加え、各事業への継続強化により増収

[国内] 「ギャツビー」フェイス&ボディカテゴリーの継続強化および女性コスメティック事業「ビフェスタ」のブランド育成・強化による増収

[海外] 「ギャツビー」の展開強化および女性コスメティック事業「ピクシー」の継続強化や「ビフェスタ」のアジア展開強化により現地通貨建において2桁増収

■ 売上原価率 国内外においてコストダウンに取り組み、原価率上昇を抑制

[国内] 為替の影響などによる原材料価格の上昇も、原材料や商品へのコストダウンや工場の合理化などを実施

[海外] 原材料価格の高止まりと人件費の上昇も、継続したコストダウンの実施

■ 販売費 海外事業に、重点的にマーケティング投資を行なう

[国内] 生活者接点の拡大のためのマーケティング投資を効率的に実施

[海外] さらなる成長に向け積極的な投資を継続

■ 営業外損益・特別損益

現段階において、大きな変動与件はなし